

人にやさしく滝頭
～身近な地域で支えあいを広げよう～



地区の概況

- 磯子区の北端に位置し、東側には国道16号と掘割川が南北に並行して走り、川沿いの平坦な旧市街と西側の起伏のある丘陵部の住宅地からなっています。
- 人口密度は約150人/haと区内で最大のまちであり、外国にルーツのある世帯の増加とともに子育て世代の流入もあり、全体としてバランスが取れた多世代型の人口構成となっているのが特徴です。

人口等の特徴 人口:14,647人 世帯数:7,553世帯 令和2年からの人口増加率:△0.4% (令和7年3月末現在)

人口は、区内で中間的な位置を占め、令和8年から5年間は0.7ポイントの減少で、今後も人口減少が続くと予測されます。年少人口の割合・高齢人口・一人暮らし高齢者の割合などはほぼ区の平均に近く、外国にルーツのある世帯は平成28年からの10年間で急増しています。

進めているよ! こんな取組

- 「愛のお弁当」(配食活動)や「ふれあい喫茶」(多世代交流サロン)を通じて、支えあい・見守りを継続し、自治会町内会でのサロン等、顔の見える関係づくりをすすめています。
- 地区全体では、ふれあい盆踊り、健民祭・文化祭等の各種イベントや、こどもの居場所「こどもすまいるルーム」、中学校での地域交流体験学習等、こどもの健やかな成長に住民が取り組んでいます。
- 身近な自治会町内会では、サロン、焼き芋交流会、餅つき、グラウンドゴルフ、ボッチャ、ラジオ体操、吹き矢等、住民同士のつながりを重視した健康づくりにも取り組んでいます。



滝頭地区 ふれあい盆踊り



文化祭 作品づくり

地域の悩み・こんな町にしたい!

身近な場所でのサロン(茶話会)事業をはじめ、様々な活動が行われているため、参加者同士の見守りや近隣住民同士の助けあいも根付いてきています。また、外国にルーツのある人や障がい児者をはじめ多様な住民が交流できるような行事やイベントを工夫しながら実施し、地域全体のさらなるつながりをめざしていますが、一方で高齢化などによる担い手不足も課題となっています。

第5期計画で力を入れたいこと

目標Ⅰ 誰もが安心して暮らせる地域をめざし、住民同士の参加と交流をすすめます

- 地域に暮らす高齢者や外国にルーツのある人・障がいのある方など、住民相互の見守りや支えあいの輪が広がるよう、誰もが地域の行事に気軽に参加し、顔見知りになれるように工夫します。その際、近隣自治会町内会での合同実施や対象者の拡大など、実施方法も検討します。
- 災害などの際にはお互い助けあえるよう、子育て世帯や高齢者・障がいのある方などに配慮しながら、様々な機会を通じて支えあいの大切さを伝えるとともに、防災・防犯につながる取組を継続していきます。

目標Ⅱ 地域活動の輪を広げ、みんながいきいきと過ごせるまちをめざします

- 「得意」や「好き」を生かし、誰もが地域活動に参加しやすくするとともに、地域活動が一人ひとりの心身の健康や社会とのつながり・広がりとうむきっかけになることも伝えていきます。
- さまざまな組織や機関(学校・福祉施設・企業等)等とも連携し、それぞれが持つ得意分野を生かして、多様な主体が地域活動に参加できるような工夫を図ります。

目標Ⅲ 多様性を視野に入れた情報発信の方法や工夫を検討します

- 日常生活から災害等の際に至るまで、必要な情報が多様な住民にわかりやすく伝わるよう、ICT(LINE、SNS、二次元コード等)の活用を含め、多彩な方法を講じていきます。また、誰もがわかりやすい表示や表現方法となるよう検討を重ね、掲示の内容や周知方法を工夫します。



多様な住民が集う「滝頭ハロウィン」



“障がいのある方とともに”をテーマにした研修「災害に備えて」